

あきたけ



秋竹小学校 学校だより
令和6年11月14日

「あの子ってすごい」が飛び出すチャンス

11月12日の授業参観・作品展へのご参観、ありがとうございました。また、作品展に向けて、材料の準備や励ましなど、保護者の方にもたくさんのご協力をいただきました。13日には、子どもたちも全学年の作品を鑑賞し、すばらしい作品を見ながら「この作品いいねえ」「これすごい」と歓声を上げていました。子どもたちは、ほめられることで自己肯定感を高め、成功を今後の力としてさらに成長をしていくと思います。学校生活の中で、あの子ってすごいが飛び出す場面をたくさんつくっていきたいものです。



自分にはいいところがある

1年生の朝の会の中で、「友達になるならだれ?」と題して、ドラえもんの友達5人から選んでももらいました。5人にはそれぞれいいところがたくさんあります。結果は、右の通りです。みなさんは誰を選ばれますか。学校にはいろいろな子がいます。様々な考えの子がいます。みんな同じでは、楽しくないですね。違いがあるから、「自分にはいいところがある」「自分は必要とされている」ことに気づかされます。授業も遊びも、いろんな秋竹のなかがいるから楽しいんですね。

1位	しずか
2位	のび太
2位	スネ夫
4位	出木杉
5位	ジャイアン

秋の読書まつり

図書委員会を中心に、学校では読書まつりを行っています。先生の好きな本を紹介したり、たくさん読書をした子には手作りのしおりがもらえたり、図書館司書さんによるブックトークをしてもらったり、楽しい試みがたくさんあります。本を読むと知識が増え、いろんなことを知ることができ、これからの生活に役に立ちます。また、本を読むと人の気持ちをよく考えられるようになります。本に出てくる人や動物の気持ちを考えて、自分ならどう思うかなと考えることはとても大切なことです。気持ちを考えることができる人は、自分のまわりの人がどう思っているかを考えることができるやさしい心をもっています。たくさん本を読んで、本の中に出てくる人の気持ちを考えてほしいと思います。



秋竹カーニバルとウインターフェスティバル

子どもたち同士の絆を深めてきた本校の伝統である「なかま活動」の一環として、昨年度まで秋竹カーニバルとウインターフェスティバルを行ってきました。それぞれの活動は、概ね内容が慣例化した中での活動でしたので、今年度より、児童会となかまリーダーが中となって企画・運営をし、子どもたちの主体性や自主性が高まるように進めています。

9月には前期児童会主催のウォークラリー（校舎内で実施）を行いました。主催した児童だけでなく、全校児童が楽しめ、有意義な活動となりました。このように、秋竹カーニバルとウインターフェスティバルで培ってきた全校で活動するよさを引き継ぎつつ、児童が主体の活動、また児童が成長する機会となるような取組を今後も行ってまいります。なお、昨年度までと同様に、本活動は授業の一環であり、公開の活動ではないため、参観についてのご案内は行いません。ご理解とご協力をお願いいたします。